

QGIS を用いた森林資源管理システムの導入について

1 はじめに

県では、森林計画業務を円滑に推進するため、森林資源管理システム(以下、県システム)を県、市町村、森林組合(一部除く)において県システムを導入し、出力される森林簿や図面を森林整備事業や森林経営計画へ活用しているところです。しかし、管轄する市町村外の情報は配備されておらず、森林組合以外の林業経営体にとっては県システムが導入されていないことから、資料入手の不便と不公平が生じています。県南広域振興局では、QGISを用いた簡易の森林資源管理システム(以下、QGISシステム)を作成し、管内の市町、林業経営体(6者)への交付と併せ、GIS操作指導の普及活動を行いましたので紹介します。

2 資料交付・QGISシステム作成の目的

現状、森林整備事業等の申請には、施業範囲を手書きした紙図面を添付し、作成作業と位置の特定に時間を要しています。森林組合を除く林業経営体にとっては、その都度県から資料を入手する手間が加わります。このことから、① 私有林の把握、② 森林整備事業や森林経営計画作成の支援ツール、③ 林業経営体のGIS技術向上を目的にQGISシステムを作成しました。

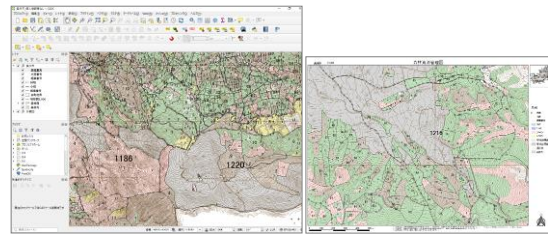
【QGISシステム導入のメリット】

- ① 森林簿・図面閲覧の自由
- ② 森林整備事業等の図面作成簡素化
- ③ 森林経営計画予定地の選定と作成
- ④ 伐採届の添付図面、災害時の資料
- ⑤ システム使用台数の制限なし

3 QGISシステムの内容

QGISの操作に慣れる必要がありますが、県シ

ステムの仕様を再現しており、比較的容易に使用することができます。なお、林業経営体へは、個人情報及び衛星画像は提供していません。



県南局作成のQGISシステム

森林資源管理図

4 操作の指導

QGISシステムを導入した林業経営体のうち、まず2者へ森林簿の確認や図面印刷等の基本操作を指導しました。これまで、手書きやCADによる図面の作成、GPSの位置管理が一連の作業となっていましたが、GISを活用することで、上記の作業時間が大幅に短縮、紙資料の削減に加え、作業履歴の管理が可能となることから、QGISシステムに喜びの声と期待が寄せられました。引き続き、他の林業経営体へ操作指導を行うとともに、GISの高度な使い方を指導する予定です。



QGISシステムの操作指導

5 おわりに

森林整備や森林経営計画認定の目標達成には、作業効率化に向けた支援・指導が必要不可欠です。今後も森林・林業業務が円滑に推進されるよう問題把握と解決に努めて参ります。